



# 小林西西新聞

THE KOBANISHI

2017年(平成29年) 2月13日(月)

第007号(随時刊)

発行所  
小林西西新聞社  
小林市細野588番  
郵便番号 886-8588  
電話番号 22-5155  
©小林西西新聞社 2017年  
http://www.kobayashi-nisi.net/



全49品の料理で保護者や中学校の先生方をお迎えした=12月7日(平成28年)午後、小林西高校体育館

## 調理科3年生 学習成果発表会

磨き上げた華麗な調理技術で保護者と恩師を魅了

# 三年間の成果を披露

調理科3年生による第31回学習成果発表会が行われ、精魂込めて作り上げた料理の数々を披露。会場となった体育館に招かれた保護者と恩師らがその料理を心ゆくまで堪能した。

生徒たちが調理したのは日本料理、西洋料理、中国料理、製菓のメニュー。1班から8班に分かれた生徒たちが、各班ごとに定めたテーマのもと、刺身盛りや天婦羅、握り寿司など和食の定番から、青椒牛肉絲(牛肉とピーマンの細切り炒め)、宮保軟蟹(ソフトシエルクラブの辛み炒め)、千焼蝦仁(エビチリ)などの中華、地中海カルパッチョ、ローストビーフ、ポターージュ・ピュレ・パルマンティエ、クリームブリュレ、苺のミルフィーユといっ



8班のテーマは「Seeds of Happiness ~幸せの種~」写真は「いちごのミルフィーユ」



3年間で培った調理技術で彩り豊かな料理の数々を披露。写真はパイ包み仕立ての「きのこスープ」

た洋食、製菓にいたるまで彩り鮮やかな全49品の料理を作り上げた。試食した保護者からは、「どの料理もとても美味しく頂きました。3年間の頑張りや伝わりました」、「子どもたちの成長した姿に感動しました。社会人になってこの調理技術を生かし、頑張ってもらいたい」など、頼もしくなった生徒たちの姿に感慨深い表情を浮かべた。



握り寿司のほか天婦羅、豚の角煮を調理した5班。

中華料理のスイーツ、香ば布丁(マンゴプリン)

## 決意を新たに看護の道へ

### 第58回 戴帽式

第58回戴帽式が小林准看護学校で行われ、衛生看護科1年生一人ひとりにナースキャップ(男子生徒はハンカチーフ)が授けられ、生徒たちは看護の道への誓いを新たにしました。戴帽式とは看護師のシンボルであるナースキャップを戴き、看護の道へ進む者として気持ちを新たにす式典だ。今年も多くの人や保護者、学校関係者が見守る中、盛大に執り行われた。

キャンドルの明かりが灯る厳粛な雰囲気のもと、戴帽生16名がナイチンゲール誓詞を斉唱。医療従事者としての責任と自覚を再確認した。戴帽生を代表し、誓いの言葉を述べた勝吉優祈さん(小林中卒)が「今日を新たなスタートとし、支えて下さる方々への感謝の気持ちを忘れず、看護という同じ志を持つ仲間たちと共に精進していきます」と力強く語ってくれた。

### 県柔道選手権'17

## 女子団体二連覇

個人戦は古川48<sup>kg</sup>V、木村57<sup>kg</sup>V、徳益52<sup>kg</sup>準V、川野63<sup>kg</sup>準V

柔道の県高校選手権が1月14、15日、宮崎市のKIRISHIMAツワブキ武道館柔道場で行われ、女子団体で二連覇を達成し、全国への切符を勝ち取った。

団体戦のメンバーは前日の個人戦で48<sup>kg</sup>級を制した古川舞(小林中卒)、52<sup>kg</sup>級優勝の徳益有香(妻ヶ丘中卒)、57<sup>kg</sup>級を制した木村至歩(箕島中卒)の3人。決勝の相手は昨年10月の新人大会で敗れた日章学園。先鋒、中堅、大将といずれも体格差で劣るものの、先鋒の古川が横四方固めの一本勝ちで流れを作る。中堅の木村は積極果敢に

攻め続け、優勢勝ちし、二連覇の快挙を成し遂げた。大将戦では前日の個人戦



衛生看護科1年生を代表し、誓いの言葉を述べる勝吉優祈さん(小林中卒)=11月11日(平成28年)午後、小林准看護学校

で優勝を逃し、団体での雪辱を誓った徳益が無差別級女王と互角の戦いを演じ、引き分けで試合を締めくくった。優勝を決めた木村主将は「優勝ができたのは監督や男子部員らのおかげ。全国では一つでも上で戦えるように2ヶ月間しっかりと準備したい」と、3月19、20日に日本武道館で行われる全国大会への意気込みを語ってくれた。



女子団体で二連覇の偉業を成し遂げ、笑顔を浮かべる女子柔道部11月15日午後、KIRISHIMAツワブキ武道館柔道場